

理事寄稿

世界平和に資する人材を育成する複言語教育
Plurilingual education for developing human resources
who contribute to world peace

茂木 俊浩 MOGI Toshihiro ¹

1. 初等教育における複言語教育

外国語教育といえば、大学や高等学校を思い浮かべるかもしれないが、筆者の勤務校²をはじめ、私立小学校では以前より英語に限らない外国語教育に力を入れてきた学校がいくつもある。その中には英語よりも仏語を先に学習する学校もある³。

小学生段階の子どもにとって、日本に暮らして見えている文化の一つ目とすると、公立小学校でも3年生から学習が始まる外国語活動の時間で扱われる英語の世界は、今まで見えていた地域文化の他にもう一つ、子どもが経験したことのない新たな世界を広げる役割がある。そしてもしも英語以外のもう一つの言語や文化に触れる機会が小学校にあったならば、英語に加えてさらにもう一つ、より多角的多面的に自分の世界が大きく広がる可能性がある。また、三つ目の世界に広がると、自国の言語や文化の見方も相対化され、立体的に自分の環境を顧みる機会にもなり得るだろう。

2. JACTFL にかかわる人の人柄が示す、他を受容する姿勢

大森先生にご紹介いただきご縁をいただいた JACTFL で出会った方々は総じて、他を受容する姿勢を体現されていることに驚かされた。自分が良ければそれで良い、自国ファースト、という風潮が散見される昨今の世界であるが、例えば JACTFL 理事間で会話が始めれば、最後まで相手の話を遮ることなく聞き入れ、相手の考えをまずは受容した上で、さらに自分の考えを伝えることで、より高い次元に議論が高まっていく。このような姿勢は、言語を扱う教育者にとって根源的な土壌であると私は考える。

従来の日本の教育は均一化を目指す精神が蔓延っていたのではないだろうか。しかし時代は進み、日本に住んでいる子どもであっても今後は SNS などを通じて多種多様な人と接する可能性を十分に秘めた世の中になっている。その新しい時代を生

¹ 所属：光塩女子学院初等科 Koen girls' elementary school

² 前身の光塩高等女学校は 1931 年にスペインのベリス・メルセス宣教修道女会が創設した。

³ 例えば白百合学園小学校は 1 年生から仏語を学び、3 年生から英語を学ぶカリキュラムである。

きる学習者に直接対峙する教員は、世界の多様性に気づくとともに、異なるものの共通性にも目を向けられる姿勢を体現する人材であることが望まれるだろう。

3. 光塩女子学院初等科における教育の特色

世界に出てみると文化と宗教は密接な関係にあることがわかる。例えばキリスト教に触れたことがあると、欧米に対するとつきやすさが大きく違ってくるだろう。光塩ではカトリックに触れつつスペイン語やスペイン語圏の文化などにも触れられるので、将来何かの役に立つ可能性を秘めていると感じている。光塩では国語の授業を小学1年生から専門の教員が教える教科専科制を採用している。小学校段階では、思考する第一言語を疎かにしてまで外国語学習に力を入れるのは、本末転倒である。確かな第一言語学習の基礎に載せるような形で、自分の世界を広げる第二、第三の言語学習に取り組めると良い、と私は考えている。普段、私は算数や理科の授業で子どもたちに伝えていることは、「ものの考え方を養うこと」だと感じている。それに対して外国語や外国文化に触れて初等科生に感じてほしいことは、「人とのつながり方を経験すること」である。人は一人では生きていけない。大人への成長過程において、新しい人との出会いは自分の人生を広げることにつながり、将来、同じ志を持つ仲間を見つけ、共に高め合う関係性を構築していく素地となり得る。英語に限らない言語や文化に触れることが、子どもたちの将来の可能性を大きく押し広げ、人生をより豊かにする一助となることを願って止まない。

小学校段階における英語以外の外国語教育は、まだまだ発展途上にある。その一方、大きな可能性を秘めていると感じている。AIでは代替できない、人と人を心でつなげる外国語学習に、今後も私は積極的にかかわっていきたい。

4. 世界平和に資する人材育成

教育活動の大きな目的の一つに世界平和が挙げられる。どの教育段階の学校機関においても「一人ひとりかけがえのない地球市民を育てている」ということを自覚する必要がある。世界から一日も早く争いがなくなり、人類が自然と寄り添いながら、より良い世界に一步ずつ近づくことが求められている。

「かけがえのない地球を救い、人間が生き続けるには、国際的な協力が不可欠です。地球環境には、国境がないからです。国境や言葉・民族の違いをこえた国際的な協力、友好、そして平和が、今ほど必要な時代はないといえるでしょう。」⁴

⁴ 『学習漫画 少年少女 日本の歴史 第21巻 現代の日本』、小学館、p.13.